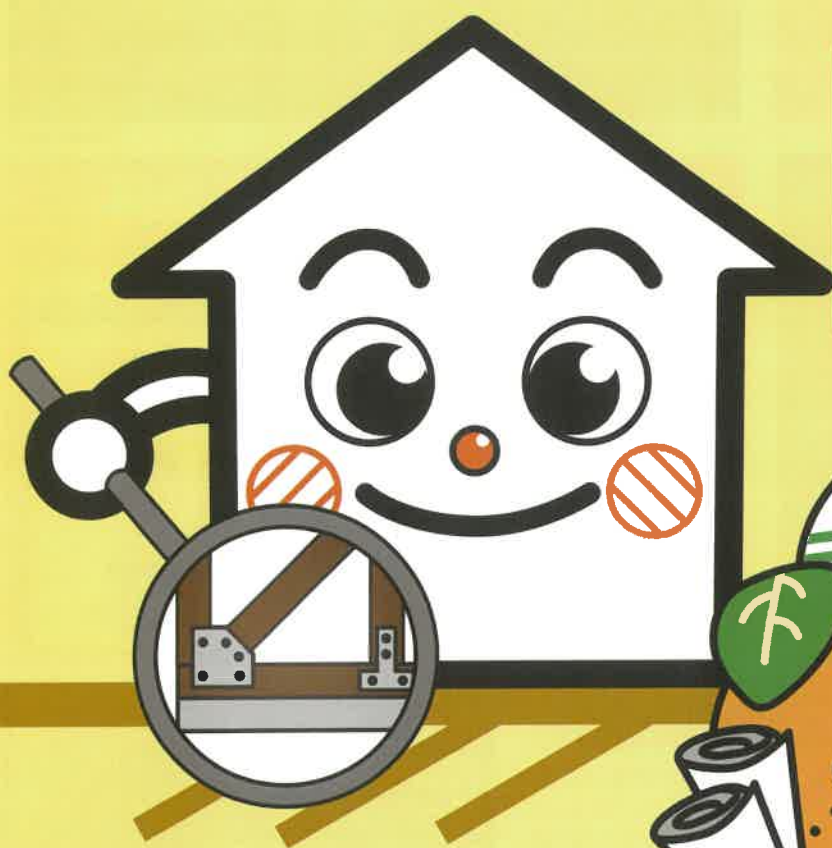


# 守るけん

# あなたの**命**

# 耐震化

南海トラフ  
巨大**地震**に  
備えて



**耐震診断技術者派遣制度**

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)

**3,000円から  
実施可能です**

(一部市町を除く。)



**診断士派遣  
するけん**

木造住宅の  
**耐震診断・耐震改修**  
県内全市町で補助します。

標準的な場合の補助金

合計 **116万円以上!**

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)

**愛媛県**

建築住宅課



県HP

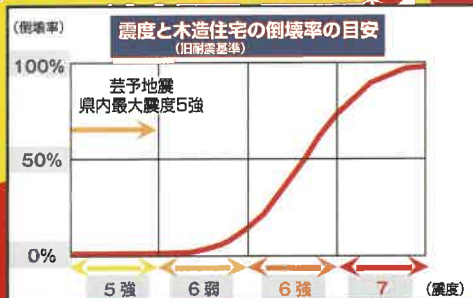
お問い合わせは、お住まいの市役所・役場までお願いします。

# 耐震改修により倒壊から命を守りましょう!

—耐震診断・耐震改修には補助制度があります—

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造住宅が対象です。

(昭和56年5月以前の着工)  
旧耐震基準の木造住宅は  
震度6強～7の大地震で倒壊する可能性大!



(写真提供: 愛媛県)



## 耐震化による減災効果

～南海トラフ巨大地震に備えて～

1. 建築物被害による死者数の低減
2. 火災による死者数 (逃げ遅れ) の低減
3. 救助活動の円滑化
4. 避難所生活者の減少 (早期の通常生活への復帰)
5. がれきの発生の抑制 など

建物倒壊・火災による人的被害(死者)

7,431人

約19分の1

耐震化率  
100%なら

401人

建物倒壊・火災による死者数 (現状)

建物倒壊・火災による死者数 (対策後)

## 耐震診断から耐震改修へ

**耐震診断** (チェック!)  
派遣 自己負担額 3,000円又は 9,720円  
補助 補助上限 2～6万円 (補助率2/3)

**耐震改修設計**  
補助上限 20万円 (補助率2/3)

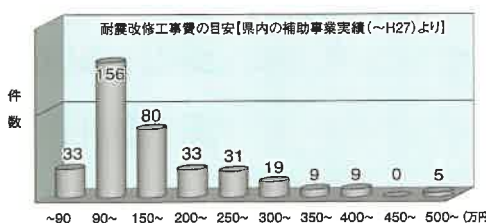
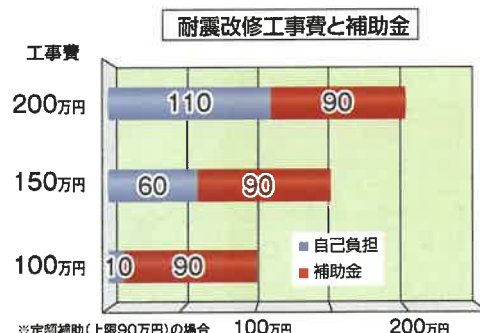
**耐震改修工事**  
補助上限 90万円 (定額補助) (チェック!)  
※90万円までは、全額補助しています。

**耐震改修工事監理**  
補助上限 4万円 (補助率2/3)

※上記補助額は、市町により異なりますので、詳細は、補助窓口に問い合わせをお願いします。

## 耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、100～150万円程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担額を少なくできます。



## 実際に補助金を活用して、耐震補強工事を行った人の声

### ●耐震補強をしようと 思ったきっかけ

秋に、この中古住宅を購入したのですが、たまたまその時に見た広報誌の一角に、耐震工事の補助制度があるというのが載っていたので、あ～なんとか、私も! 補助金を活用したい!! と思いました。

松山市のHさん

### ●耐震化工事を終えて

大きな安心がありますし、それから、いろいろな部分でとても快適になり、喜んでおります。公的にも後押しをグンとしていただきました。

### ●みなさんへ

耐震改修工事までは、なかなかおっくうかもしれないけど、お家の状況を知るために、まずは、耐震診断をおすすめします。家のことを考えるきっかけにもなります。